

岐阜県立可児高等学校

学校長

櫛部 祐成

学校住所

岐阜県可児市坂戸987-2 電話 0574-62-1000

1 会議の名称 岐阜県立可児高等学校学校 学校評議員会及び学校関係者評価委員会

2 会議の構成 評議員 有馬 敬子 (元可児高校PTA役員)
大野 裕司 (元美濃加茂西中学校長)
木下 栄蔵 (名城大学都市情報学部長)
古賀 敏則 (老人福祉センター可児川苑苑長)
若尾 英夫 (坂戸地区自治会長)

(評議員名は敬称略)

学校側参加者

櫛部 祐成	校長
日江井孝浩	教頭
今枝 弘幸	事務長
福井 和弘	教務主任
金本 淳	進路指導主事
伊左治錦司	生徒指導主事
浦崎 太郎	改革推進部長

3 会議の目的 学校運営について、保護者や地域住民から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。

4 会議の開催 平成29年2月3日(金) 14:30~16:30
可児高等学校校長室
評議員4人と学校側7人が出席

5 会議の概要

- (1) 授業参観
- (2) 学校長挨拶
- (3) 議題
 - ア 教育に関する年間数値データについて
 - イ アンケート結果について
 - ウ 各分掌より
 - ① 教務部
 - ② 生徒指導部
 - ③ 進路指導部
 - ④ 改革推進部
 - エ ご提言・ご感想等
- (4) その他

6 ご提言・ご感想など

(1) 授業について

- 意見1 生徒の皆さんは落ち着いていて、授業風景には感心させられた。生徒のアンケートを見ると、先生に対する評価が高く先生とうまくいっていることがわかる。授業中も生徒との対話があり、意思疎通が良好である点が伝わってきた。
- 意見2 学習塾の必要性を感じている生徒が半数近くいることについては、過度に気にする必要はない。
- 意見3 授業での生徒の前向きな様子と、塾の必要性を感じている生徒の割合が多いことにズレを感じる。アンケートそのものに意味があるのか疑問である。アンケートの出し方を変えた方がいいのではないか。
- 回 答 県で統一された内容になっているので、変更ができない。

(2) 生徒指導について

- 意見1 情報モラルが気がかりだったが、指導の充実ぶりが伝わってきた。
- 意見2 SNSによる被害はどのように把握したのか？
- 回 答 被害者から学校に問い合わせがあった。
- 意見3 始業ギリギリで登校する自転車の生徒で、無茶な運転をする子がいる。危ないと思うこともあった。
- 意見4 可児高生の交通マナーに対する周辺住民からの苦情は減少しているが、自転車の並列走行は対処をお願いしたい。横断歩道を渡らせるとき、車を止めるばかりでなく、生徒の方を待たせる指導も必要ではないか？
- 意見5 フジパチンコの駐車場の西側で、送迎の車で渋滞になることがある。
- 回 答 保護者には通らないようにと注意喚起しているが、徹底できていない。

(3) 学校運営について

- 意見1 生徒や保護者の先生に対する信頼度が向上している。
- 意見2 廊下もきれいで、トイレも清潔にしてあり、中庭もすっきりして気落ちがいい。
- 意見3 来年度のカリキュラムの柱は何か？
- 回 答 可茂地区では、中学生の減少、隣接学区や私立高校への流出の影響が出ているが、それを克服するよう、学習指導体制をいっそう強化したい。高大接続システム改革に向けた準備も加速したい。
- 意見4 学校として何を魅力にするのか。進学校であることに何かプラスαがあるとよい。

(4) 主権者教育について

- 意見1 改革推進部の主権者教育という難しい課題に真正面から挑戦していることがすばらしい。数少ない地域参加で当事者意識の向上に限界があるのであれば、繰り返しが大切である。
- 意見2 熊本の支援に、ボランティアとして参加したが、今なお過酷な状況である。実際に見たり体験したりすることで、内面(思い)を育てることと、政治的な教育とリンクさせながら、将来の日本のリーダーに育てて欲しい。
- 意見3 主権者教育と地域課題解決型キャリア教育の有機化には、さらに努めて欲しい。

(5) その他

意見1 体育大会の様子が落ち着いていて、エネルギーであり、去年よりまして素晴らしくなりました。

意見2 体育大会を初めて見せてもらったが、素晴らしかった。特に女子生徒の活躍が目立った。

意見3 皆勤を目標とするクラスがあったが、何か特別な指導をしているのか？

回答 特に絶対休まないようになどの厳しい指導はしていない。楽しい雰囲気です充実感を味わえる授業を実践することで、学校に来たくなるように持って行きたいと考えている。

7 会議のまとめ

全体的に好意的で温かい評価・ご意見をいただき、今後も現在の方向で教育活動を推進していくべきであることを確信した。また、多くの方に応援してもらっていることは感謝の念に絶えない。今回も前回同様、授業を参観していただき、生徒と教員との関係が良好であるという評価をいただいたが、これに甘えることなく、さらに授業改善を進めていきたい。交通安全については、前回同様多くの課題を指摘していただいた。この1年大きな事故は発生しなかったが、車との接触や、歩行者とのトラブルは起きているので、交通安全指導には今後も力を入れてきたい。生徒数が減少し、他地区や私立高校への流出も大きな課題となってきた。進学校としての地元の期待に応えながら、地域に根ざした魅力ある学校づくりをめざし、社会や地域に貢献する生徒を育成していきたい。